



阿戸中だより

平成21年

10.9

広島市立
阿戸中学校

校訓「自主・敬愛・責任」

今日で前期が終わります。それぞれがどんな半年間の学びがあったのでしょうか？昨日からの懇談会で先生と、お家の方としっかり振り返りができたと思います。そこで、明日からの3日間は、自分自身で振りかえりをして下さい。4月に自分にはどんな目標があったのか。どんな思いを持っていたのか。そして、半年間どんな行動をしたのか。どんな成長があったのか。昨年と違ったどんな新しい自分があったかなど。

短い切り替え期間となりますが、来週の火曜日には、また自分にチャレンジしてみよう！という新鮮な気持ちで後期スタートが切れる自分を作ってきて下さい。

お知らせ

○10月16日(金)に3年生進路説明会があります。

2回目の説明会です。今年の入試の具体的なことが説明されます。入試の方法や内容は毎年微妙な変更がありますので、兄弟がいて経験済みの保護者の方々も、ぜひ出席していただけたらと思います。進路決定に向けて大詰めですので、お子様の気持ちをしっかり聞き出して、親の願いと学校の支援の三者が一体となって進めて参りましょう。

○10月17日(土)に英語検定があります。

昨年度から、PTAの役員さんのご協力をいただいて英語検定を実施しています。今年は昨年より多くの方が参加します。成績には関係ない自主的な学習です。まさに“自主勉”です。自らやる勉強は楽しいし力になります。受験する人は努力して受験して下さい。

○10月25日(日)に2大行事の一つ、学習発表会があります。

今3年生を中心に合唱の取り組みを頑張っています。今年は試験が少し遅かったのでスタートが遅れましたが、毎日放課後には職員室まで歌声が聞こえてきます。今年はどんな合唱を創りあげてくれるのか、楽しみにしています。また、総合的な学習の発表に向けても追い込みです。レポートを書いたり、舞台発表に向けてのプランを練ったりと大変ですが、“全員が何かの形で責任を持って舞台に立つ”ということを経験することも大切なねらいとしています。大きな緊張を乗り越えて、自分の発表をやり遂げる経験は大きな達成感と成長を促します。どなたでも参加できますので子ども達の晴れ姿をぜひご覧になって下さい。

○10月は運動クラブの新人戦シーズンです。健闘を祈ります！



9月のフキ行事、子どもたちと先生の、こえ・声特集！

☆給食訪問を終えて

各クラスの給食時間に、いつもお世話になっている給食センターの先生方や、普段は一緒に食べる事のない副担任の先生方も上手に開いて食べていた1年生、おまけのじゃんけんバトルがすごかった2年生、3年生はさすが！静かにマナーよく食べていました。色々な発見がありおもしろかったです。また普段できない先生方との交流ができ、生徒からも好評でした。

養護教諭 田村弘子



☆敬老のプレゼントが地域の方々子どもたちをつなぎました。

チーフ 三山良太くんの挨拶

皆さん、おはようございます。そして本日はおめでとうございます。僕たちはプレゼントを渡すために今日きました。そのプレゼントは『エコ団扇』とお花です。再生紙を使っているので、『エコ団扇』と名付けました。阿戸中のみんなが一生懸命作りました。もう夏は過ぎてしまいましたが、今年は地球温暖化が進んで秋でも暑い日があると思うので、そういう日にこの『エコ団扇』を使って欲しいです。また、お寿司を作るときにも使って下さい。



敬老の日に贈ったプレゼントのお礼のお葉書がぞくぞく学校に届いています！うれしかったので、額に入れて飾っています！中内タツエ様、沖ノブ子様、橋川嘉代子様、橋川萬様、前田暢哉様、川崎エミコ様、ありがとうございます。元気が出ました。

そして、むつみ会の方々から、定期便のたくさんの雑巾をいただきました。他校では生徒全員が毎年2枚ずつくらい縫って持ってきていましたが、残念なことに使って黒くなると、汚いと言ってさわるのを嫌がっていました。阿戸中では1年間分の雑巾をこれで賄っています。真っ黒になっても平気で洗って使います。阿戸中に来たとき先輩先生から、「頂いたものだから簡単に捨ててはいけない」と言われました。10年近く前のことですが、「雑巾を大切にに使わせていただく」という精神が今も受け継がれているのがうれしいです。これも地域の方々の思いが子どもたちに届いている証拠です。ご高齢の方々にとっては雑巾を縫われるのも大変だろうと思います。深く感謝いたします。また、今年は別に光武フミ様からもたくさんの雑巾をいただきました。ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。



☆職場体験に行ってきました！ありがとうございました。

お陰さまで2年生が日常とは違う社会の中で、大きな学びをして帰ってきました。毎日の夕方かかってくる終了報告の電話が楽しみでした。あれだけできなかった敬語での会話が成立したり、「はい」という返事がはっきり間髪入れず言えたり、「疲れた」と言いながらもとても元気な明るい声だったり、充実した1日を過ごさせていただいたことが充分伝わってきました。

とても大変そうなのに、お客様や私たちが話しかけると笑顔で接して下さった。動物にたくさん話しかけてあげていた。乗馬クラブの仕事はとても体力がいるし大変だけど、とてもやりがいがあり、達成感のある仕事だと思った。少し興味がわいてきたので、馬のことをもう少し勉強してみたいなと思った。
とにかく、動物の勉強をしてみたい。

瀬野川乗馬クラブ 佐々木美緒



先生方は子ども達が遊びの中でケンカにならないようにルールを作ったり、楽しく遊べるように普段からよく見て声をかけるなどの細かい気配りをされていた。行事の準備も何ヶ月も前から話し合ったり、必要な物を作ったりされていた。

昔、児童館で遊ぶときは何も思わなかったけど、働いてみると色々違うことがあるんだということがわかった。仕事をするには責任感を持たなくてはいけないし、自主的に行動することが必要だとわかった。

阿戸児童館 三上由貴



子ども達みんな同じように接しないといけないということがわかった。子どもと接するには、いけないことや危ないことをしたらちゃんと注意しないといけないと思った。仕事をするには責任感がいい、大変だった。指示されたことはちゃんとやらないといけないのですごくドキドキした。仕事は簡単なことじゃないので、大変だった。



上瀬野保育園 宮田碧巳

職場体験学習は、生徒にとって大変意義深いものとなったようです。それぞれの職場に出かけ、緊張の中で仕事をするのは初めは大変だったようです。しかし、慣れるにつれ働く楽しさが少しずつわかってきたようでした。教員が職場を訪問した際に、学校での顔とはまた違った真剣な顔、すてきな笑顔をたくさん見ることができました。受け入れて下さった事業所の皆様方のご協力に、大変感謝しております。ありがとうございました。

2年担任 清水郁恵

今年6月から初めてお給料をもらう仕事に就いた加藤先生に、感想を寄せてもらいました。

私は、今年の6月から学校アシスタントとして母校である阿戸中学校に勤務させていただいています。7年前に阿戸中を卒業し、またこのような形で阿戸中に関わることができ、大変うれしく思っています。

学校アシスタントの仕事は、先生方のお手伝いをさせていただく

仕事で、具体的には、授業で使うプリントや各学年に配布する手紙の印刷、パソコンを使ったデータ入力や資料の作成をしています。働き始めの頃は、前任の方がおられたわけではなかったので引き継ぎもなく、本当に何をすればいいのかわかりませんでした。しかし、先生方が印刷などの仕事を任せてくださったのでそういった仕事をこなす中で自分が何をすればいいのかわかるようになりました。この仕事を始めてからいろいろなことを体験させて頂きました。なかでも一番貴重な体験だったのは、9月30日に行われた本物の舞台芸術鑑賞会の舞台に立たせて頂いたことです。この演劇は生徒や職員がエキストラとして参加するシーンが2つあり、そのうちの1つに生徒2人と一緒に参加させて頂きました。とても緊張しましたが他では体験できない貴重な体験をすることができました。このように、学校でしか体験できないことを体験できる事も学校アシスタントの良いところです。

また、この仕事を通じて自分に足りない物を見つけることができました。それは人とコミュニケーションをとることです。自分から声をかけていくことが苦手だということが分かったのでこの仕事をしているうちに少しでも克服できるように積極的に自分から声をかけていこうと思います。

まだ働き始めて3ヶ月ですが、この3ヶ月は非常に内容の濃い3ヶ月でした。この期間で得た事を忘れず、残りの期間で良いところはもっと良く、改善すべきことは早めに改善できるようにこれからも日々努力していこうと思います。

学校アシスタント 加藤 純一

☆本物の舞台芸術鑑賞会。やっぱり本物はすごかった！！

舞台の上からフロアに降りた舞台設営で、目の前の演技に観客と一体になった演劇でした。こども達も間近の迫力とレベルの高い演技、工夫されたセットと演出に、2時間という長時間にも関わらず引き込まれていました。『知覧・青春』を観ての感想です。

設定がわかりやすく、天国から人が誰かをさがし出したくて昔に戻るというのがおもしろかった。死にたくて死んだわけではないのに、戦争は本当に大変で悲しい思いをするんだなと思った。若い男達は戦争に行かなくてはいけないから、誰かが死に、誰かが悲しむので、戦争のいいところは一つもないのだとわかった。僕だったら黙って逃げていたと思うけど、男達は死ぬ覚悟で戦争に行ったというのはすごいことだと改めて実感した。僕は広島出身で被爆体験はどれほど恐ろしいことか知っていたけど、その戦争の裏側が知れてよかった。殺し合うことは嫌な人が多かったと思うけど、行かなくてはいけないから、誰も望んでいない悲しい情報がいっぱい入ってきて、昔の人はとてもつらかったんだろうなと思った。本当にこれからは平和な世界ができたらいいと思います。

1年 堀田 直路

私は劇を観て良かったと思います。3年生と先生がやったところはすごくおもしろくてまた、観たいなあと思いました。プロの人はめっちゃくちゃ上手くて、学校の体育館で、あんなに近くから観れてすごかったです。さすがプロだと思ったのは、笑っていなかったし、泣くところは本当に泣いている感じだったからです。私はお尻がめっちゃくちゃ痛かったけど、プロの劇が近くで観れて良かったなあと思いました。

1年 庄賀 晴菜

今年のスローガン“熱中！感動！夢づくり！”を体感した9月でした！

